

平成24年3月期

決算説明会資料



【証券コード:4956 東証・大証第一部】

平成24年3月期 決算概況

平成24年3月期 決算ハイライト(連結)

(単位:百万円 ()内%は前期比)

売上高	100,231百万円	($\Delta 0.4\%$)
営業利益	4,777百万円	($\Delta 4.6\%$)
経常利益	4,723百万円	($\Delta 3.3\%$)
当期純利益	2,320百万円	($\Delta 15.5\%$)

- ✓ ボンド事業部門は増収減益
- ✓ 化成品事業部門は減収増益
- ✓ その他は減収減益
- ✓ 特別損失 約323百万円計上(栃木倉庫他)

【連結】決算概況 平成24年3月期 通期

(単位:百万円)

	平成23年3月期 (累計)		平成24年3月期 (累計)		
		前期比		増減額	前期比
売上高	100,666	6.8%	100,231	△435	△0.4%
ポンド	45,295	8.1%	47,290	1,994	4.4%
化成品	48,313	5.4%	46,459	△1,853	△3.8%
その他	7,058	8.0%	6,481	△576	△8.2%
営業利益	5,009	24.7%	4,777	△231	△4.6%
ポンド	4,161	35.0%	4,116	△44	△1.1%
化成品	377	△15.6%	412	35	9.3%
その他	463	△2.8%	238	△224	△48.5%
消去	7		9		
経常利益	4,885	24.4%	4,723	△161	△3.3%
当期純利益	2,746	25.8%	2,320	△426	△15.5%

(ボンド事業)平成24年3月期 事業環境

《ボンド事業》

住宅業界

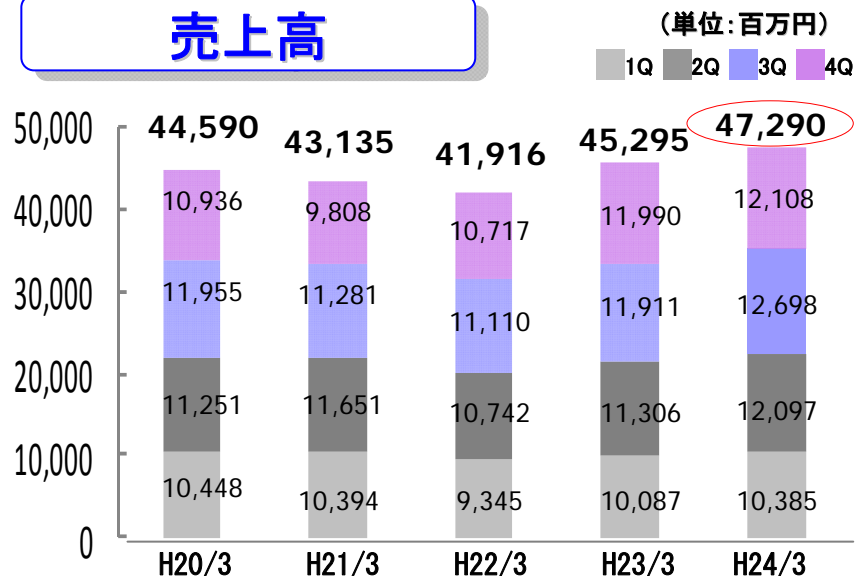
- ・震災による建築資材のひっ迫や復興需要の増加による現場作業者の不足等、現場は大きく混乱
- ・政府による住宅取得支援策の再開もあり、新設住宅着工戸数はほぼ前年並みまで回復

土木建築業界

- ・被災地以外での公共工事の先送り、補正予算成立の遅れにより厳しい環境
- ・東日本での復旧工事および既存建築物に対する補修・改修工事は堅調に推移

【セグメント別】業績の推移(連結 ボンド事業)

売上高



【住宅関連】

■ 秋口より戸建住宅の低迷はあったものの新設住宅着工戸数はほぼ前年並み。床用ウレタン系接着剤、変成シリコン系接着剤、一般住宅用シーリング材順調

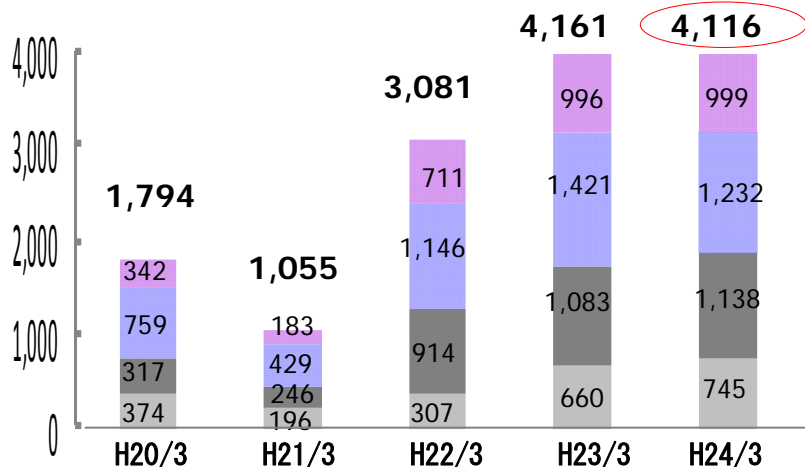
【工業用関連】

■ 震災からの復旧により需要が回復しつつあったが、秋口より停滞感が広まり工場生産用接着剤は低調に推移。特に自動車用シール材・離型剤が低調

【土木建築関連】

■ 本格的な復興工事は大幅に遅れたものの、被災建築物に対する補修工事が徐々に進む
 ■ 工事用接着剤順調
 ■ 安定した供給体制を背景にビル・マンション等の既存建築物に対する補修・改修工事の増加および復旧資材としての需要に対応
 ビル建設用シーリング材好調

営業利益



【一般消費者関連】

■ DIY関連製品の需要の高まりと新製品である「ボンド ウルトラ多用途 S・Uプレミアム」が売上に貢献するも、全体としては前年並み

■ 原材料価格が高水準で推移したこと、および震災直後の物流への対応により販売費及び一般管理費が増加

(化成品事業)平成24年3月期 事業環境

《化成品事業》

自動車業界

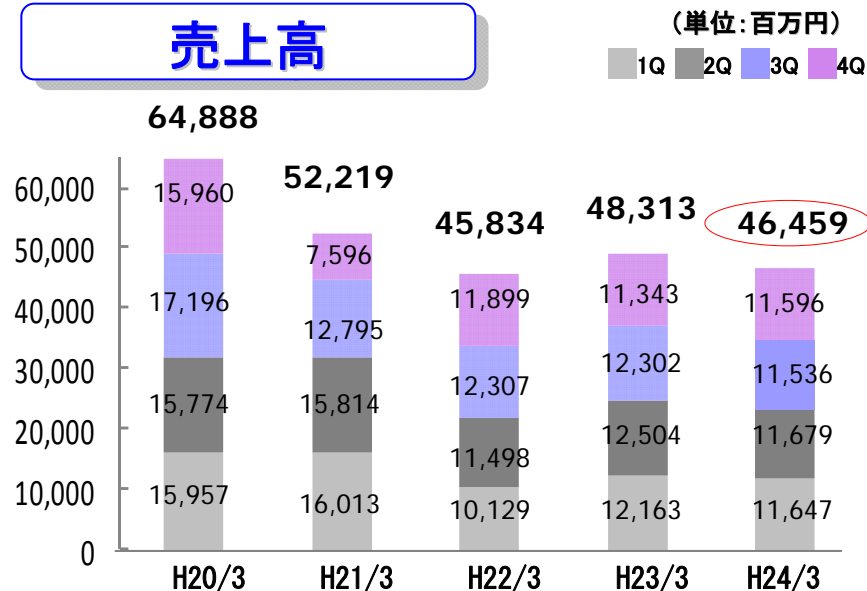
サプライチェーンの急速な復旧に伴い、生産の回復基調が鮮明

電子・電機業界

スマートフォンに関連する部品の需要が増加する一方で、円高による生産拠点の海外移転や業界再編が加速

【セグメント別】業績の推移(連結 化成品事業)

売上高



【化学工業】

■夏場以降の市況の停滞による終始低調に推移

【塗料業界】

■自動車補修用塗料材料は堅調に推移するも、製缶用塗料およびプラスチック用塗料材料の低迷による低調に推移

【電子・電機業界】

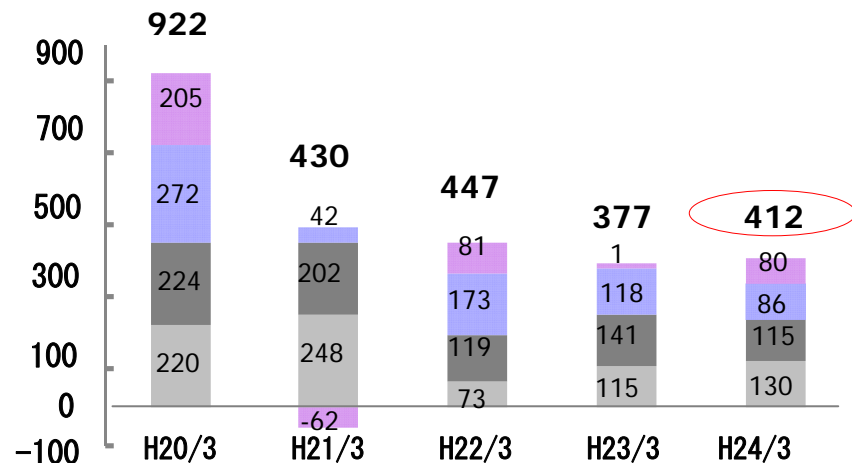
■震災による材料の供給不安に始まり、ユーザーの被災による生産停止、液晶テレビや半導体向け材料等の販売不振から低調に推移

■薄膜材料は第2四半期以降の在庫・生産調整により低迷、電材についても第3四半期中頃より生産調整に入り前年水準を下回る

【自動車業界】

■夏場以降のサプライチェーンの復旧と在庫の復元が急速に進み、特にハイブリッド向けのシリコンウエハー等の電子部品関連材料が好調に推移し、前年水準を大きく上回る

営業利益



■販売費及び一般管理費の減少により利益増

(その他)平成24年3月期 事業環境

《その他》

工事請負事業

- ・第三次補正予算案が11月に成立するも、執行が遅れる
- ・受注競争の激化

化学品データベース事業

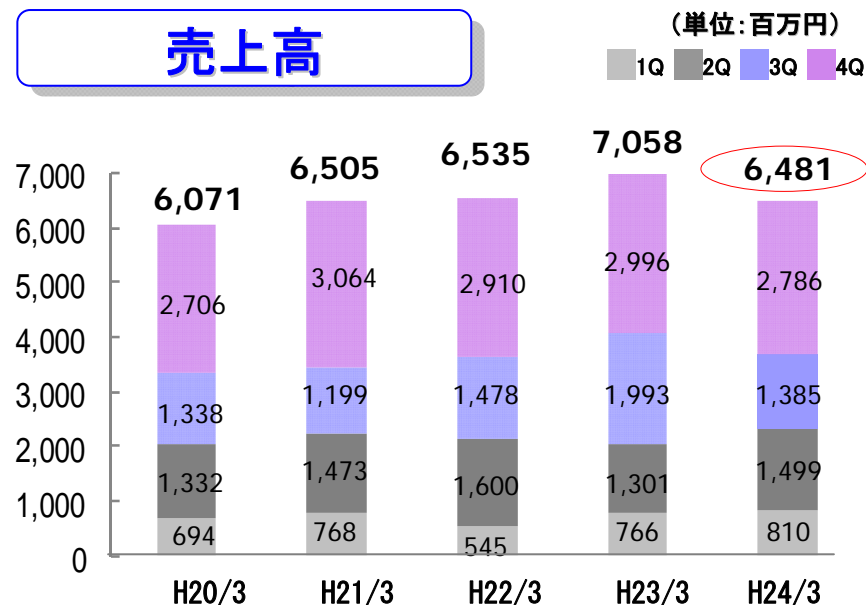
- ・景気低迷により投資マインドは低調
- ・海外の化学物質に関する法規制の強化
- ・受注競争の激化

塗料事業

- ・震災後の前倒し生産等により前半は活況に推移
- ・後半は欧州の金融危機の影響を受け輸出企業の操業を低下させる

【セグメント別】業績の推移(連結 その他)

売上高



【工事請負事業】

ボンドエンジニアリング・コニシ工営

■補修改修および耐震補強工事等の受注が秋以降に回復してきたものの、受注競争の激化と業界全体の発注遅れが完工に響き、前年実績を大きく下回る

【化学品データベース事業】

日本ケミカルデータベース

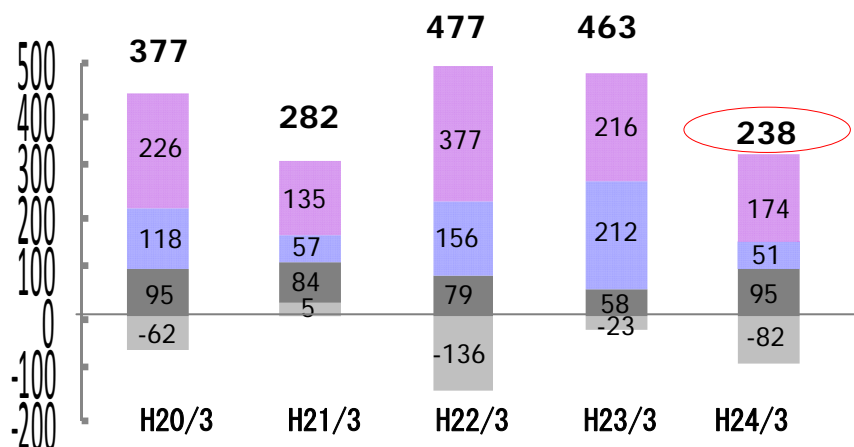
■企業の投資マインド回復と海外も含めた化学物質管理の重要性からシステムの販売が順調に推移したものの、前年水準を下回る

【塗料事業】

ミクニペイント

■プラスチック用・レジャー関連用途向けが好調に推移したが、円高による輸出関連ユーザー向け塗料の販売低迷等により前年水準を下回る

営業利益



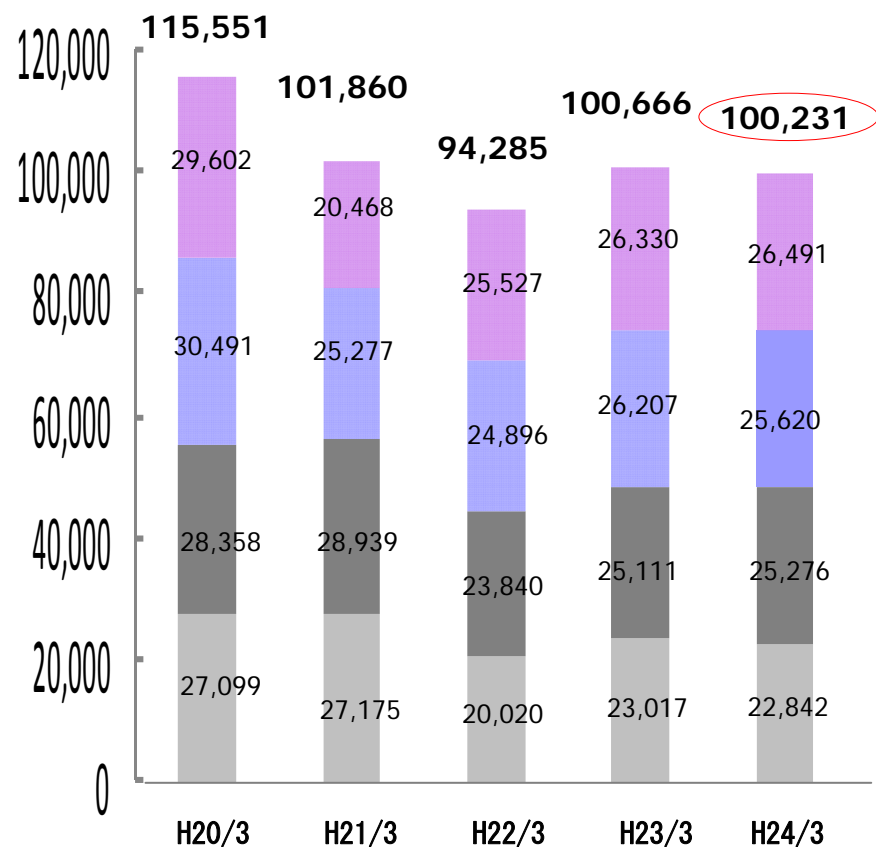
■売上高減少および受注競争激化により売上総利益率が低下

業績の推移(連結)

売上高

(単位:百万円)

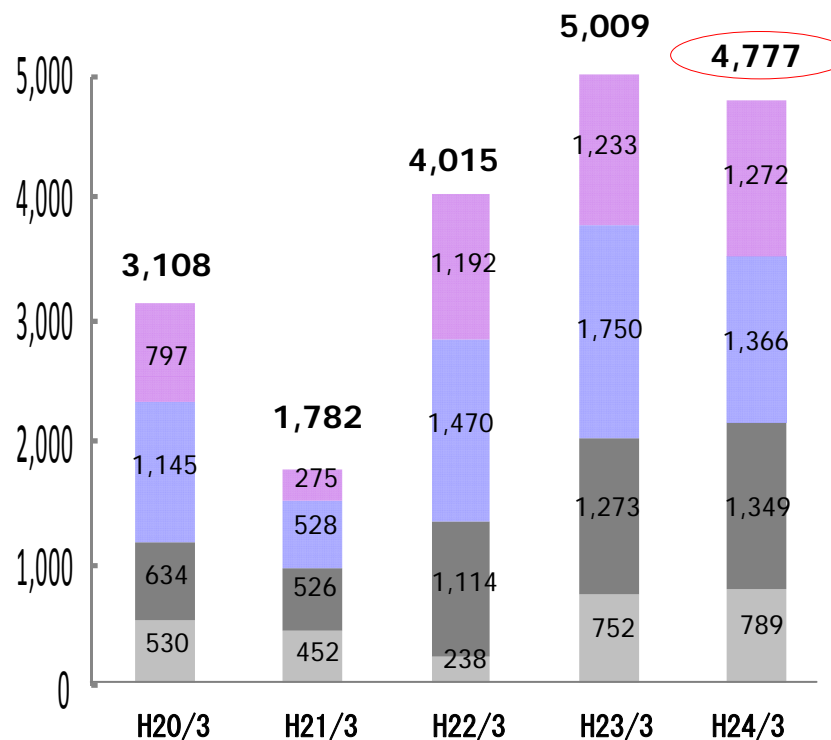
■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q



営業利益

(単位:百万円)

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q



中期経営計画について

中期経営計画

(平成24年3月期－平成27年3月期) 連結

平成27年3月期

- 売上高 1,300億円
- 経常利益 65億円
- 経常利益率 5%
- 自己資本当期純利益率(ROE) 8%

中期経営計画の進捗について

中期経営計画
(平成24年3月期－平成27年3月期) 連結

■売上高 1,300億円

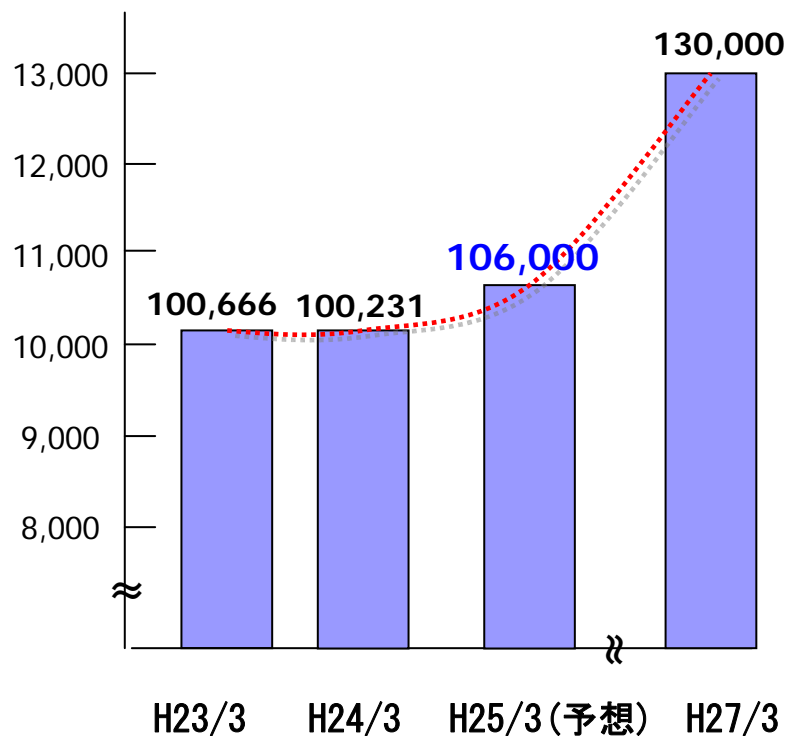
■経常利益 65億円

■経常利益率 5%

■自己資本当期純利益率(ROE) 8%

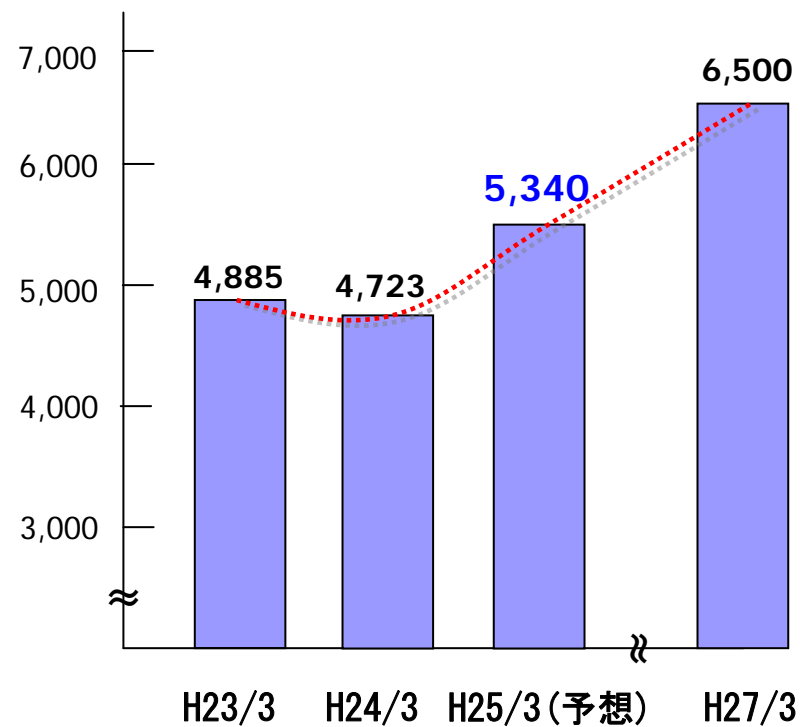
売上高

(単位:百万円)

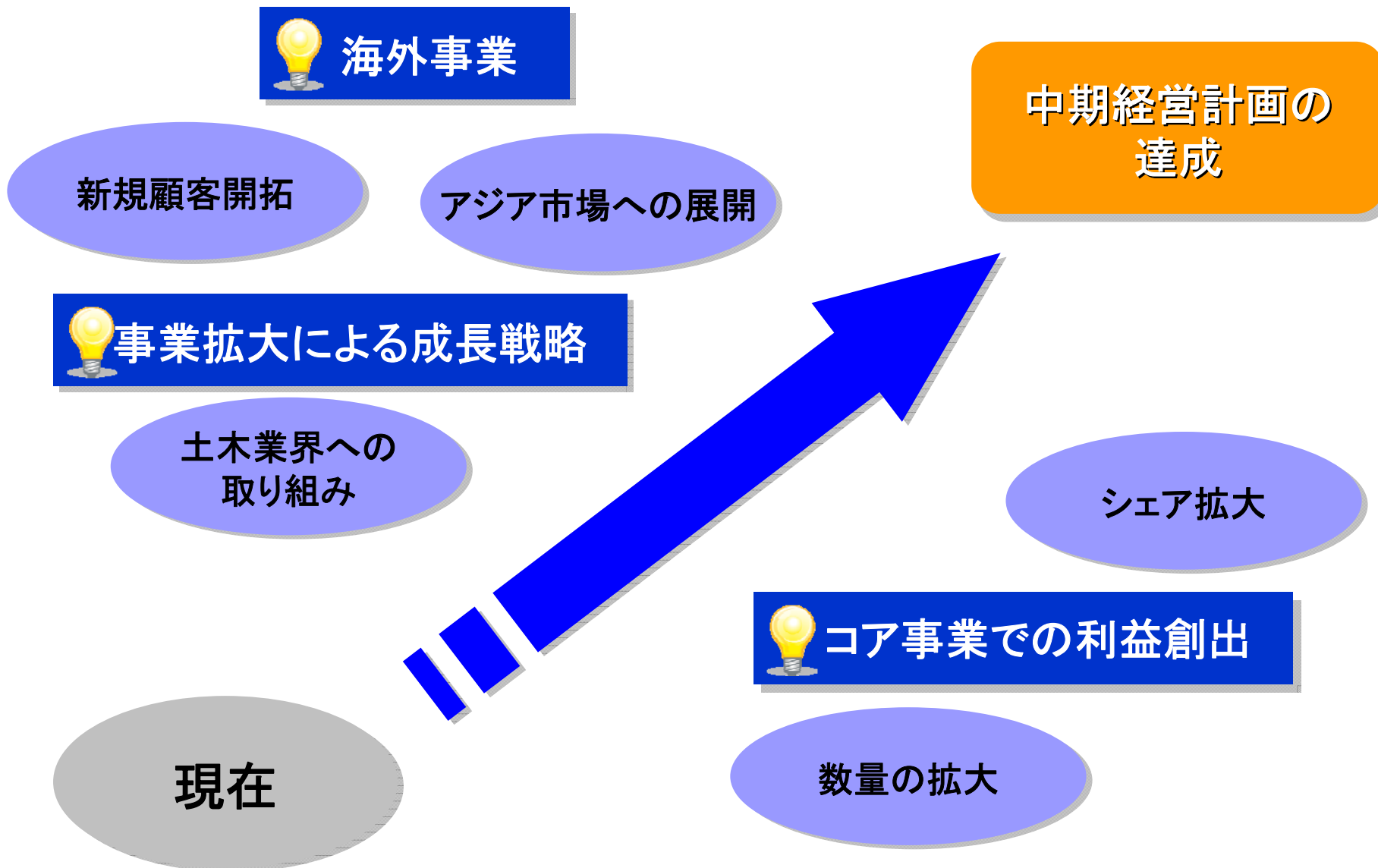


経常利益

(単位:百万円)



中期利益計画ビジョン

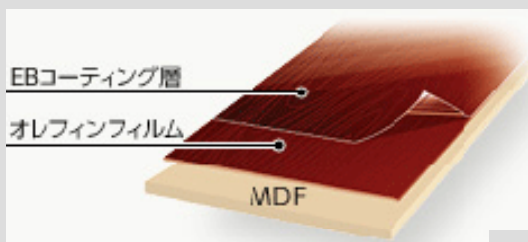


プラン①

コア事業での利益創出にむけて

住関連市場でのシェア拡大

建材市場(シートフロア用途、集成材用途など)



タイル施工用接着剤



戸建用シーリング材



プラン②

コア事業での利益創出にむけて

補修・改修工事市場でのシェア拡大

シーリング業界シェアNo. 1への挑戦



建築物の耐震化、
補修・改修工法への注力



ボンドカーボピンネット工法(左) / 鉄骨ブレース接着工法(右)

ベストム工業会の充実と活用



ベストム工業会講習会の様子

プラン③

事業拡大による成長戦略

土木業界への取り組み

実績のある分野のさらなる深耕



コンクリート片の剥落防止工法
ボンドKEEPメンテ工法VM-3 施工写真

専門部署の設置と設備投資



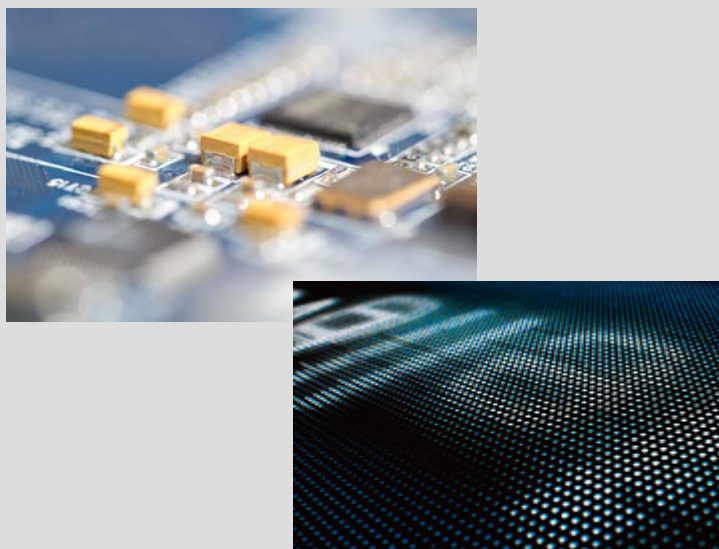
構造物の疲労耐久性を評価する試験機(上)
-30℃から50℃までの条件を再現できる環境試験室(下)

プラン④

事業拡大による成長戦略

新規顧客の開拓

電子・電機業界への参入

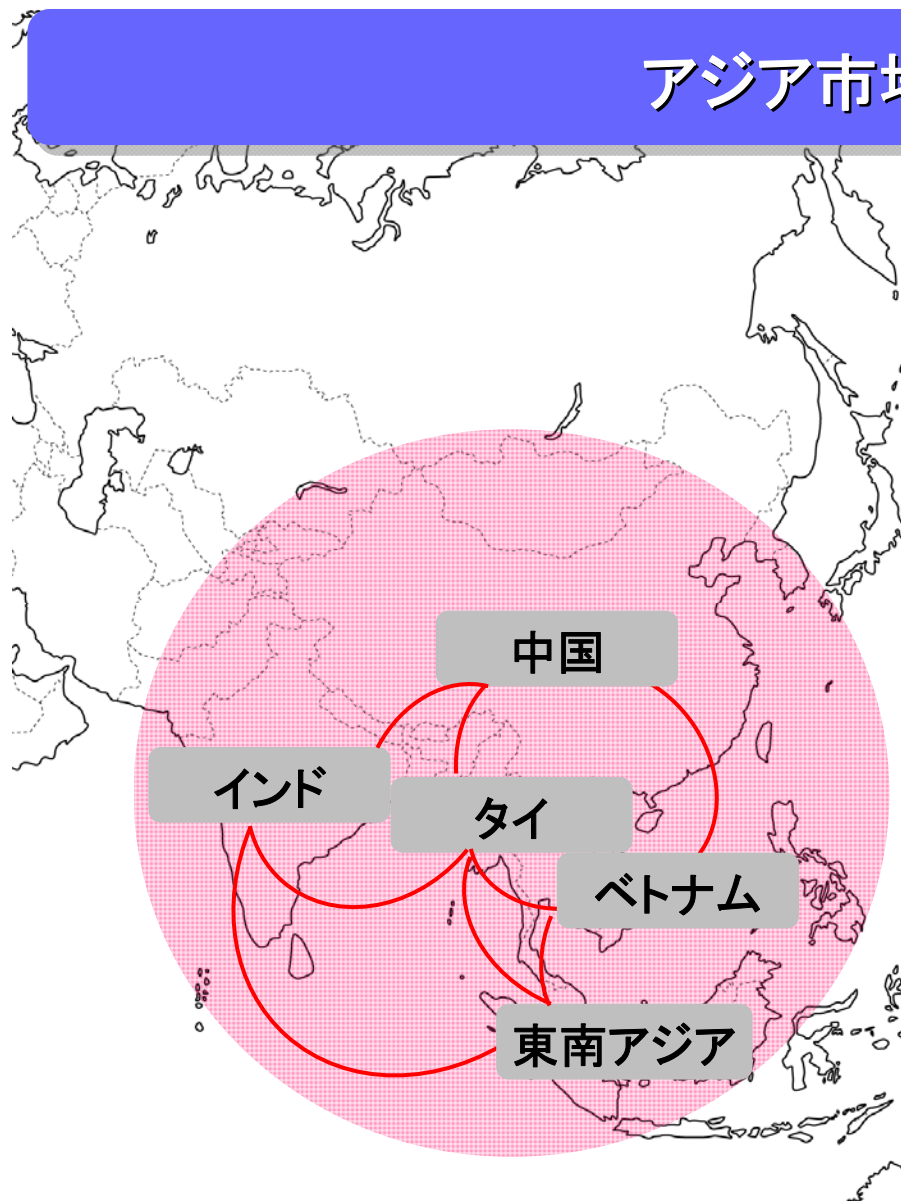


自動車業界への参入



プラン⑤

アジア市場への展開



中国

- 科陽精細化工(蘇州)有限公司 《ボンド 生産拠点》
新規製品生産に向けての設備の増強を行う
- 科昵西貿易(上海)有限公司《化成品 販売拠点》
販売網拡大のための人材投入

タイ

- Kony Sunrise Trading Co.,Ltd.《化成品 販売拠点》
東南アジアの販売拠点として、人員投資も含めた強化を行う

インド

- KF Instruments India Pvt.Ltd.《化成品 生産拠点》
生産としてだけでなく、営業活動も含めた拠点としての事業展開を進める

ベトナム

- Konishi Lemindo Vietnam Co.,Ltd.《ボンド 生産拠点》
ベトナムにおける需要に対応するため、水性を中心とした接着剤の生産およびユーザー開拓を展開中

平成25年3月期 業績見通し

【連結】平成25年3月期 業績予想

(単位:百万円)

	平成24年3月期 通期		平成25年3月期 通期(予想)		
		前期比		増減額	前期比
売上高	100,231	△0.4%	106,000	5,769	5.8%
ボンド	47,290	4.4%	50,200	2,910	6.2%
化成品	46,459	△3.8%	48,100	1,641	3.5%
その他	6,481	△8.2%	7,700	1,219	18.8%
営業利益	4,777	△4.6%	5,330	553	11.6%
ボンド	4,116	△1.1%	4,430	314	7.6%
化成品	412	9.3%	470	58	13.9%
その他	238	△48.5%	430	192	80.1%
消去	9				
経常利益	4,723	△3.3%	5,340	617	13.1%
当期純利益	2,320	△15.5%	3,010	690	29.7%

【セグメント別】平成25年3月期 業績予想(連結 ボンド事業)

(単位:百万円)

ボンド事業部門

	平成24年3月期 比較
売上高	+2,910百万円(+6.2%)
営業利益	+314百万円(+7.6%)

※増減は円単位にて計算

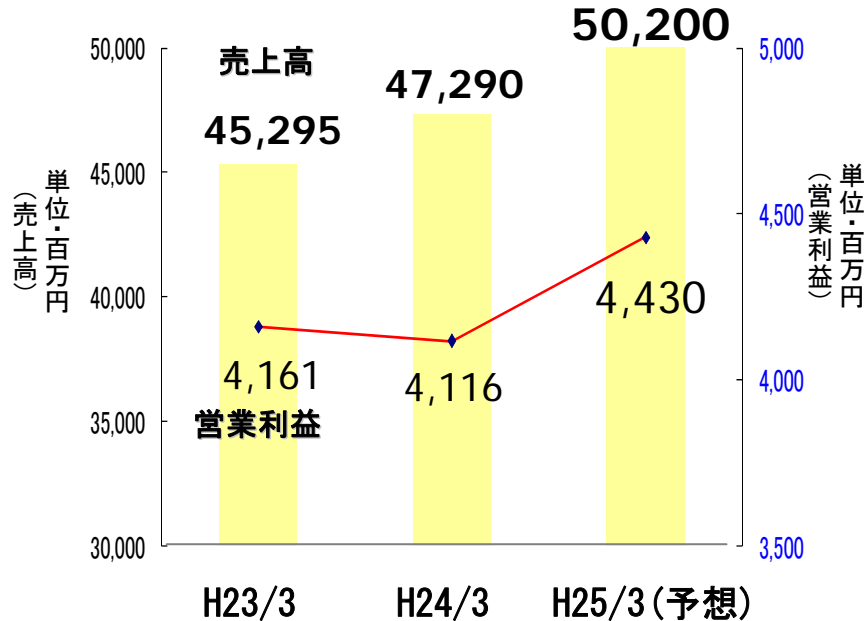
売上高

■東日本被災地域でのインフラ整備から新設住宅の着工等
震災の復興需要が本格化する見通し

■被災地以外における戸建住宅、マンション、ビル、橋梁等の
耐震補強工事や建て替え需要が引き続き発生する見通し

営業利益

■販売数量拡大による利益増を見込む



【セグメント別】平成25年3月期 業績予想(連結 化成品事業)

(単位:百万円)

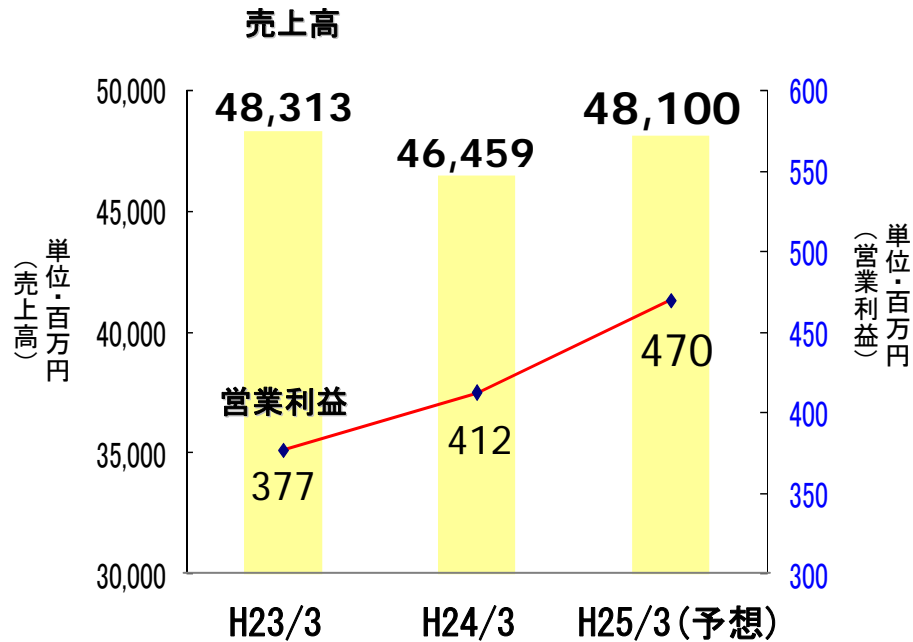
化成品事業部門

	平成24年3月期 比較
売上高	+1,641百万円(+3.5%)
営業利益	+58百万円(+13.9%)

売上高

- 自動車業界向け材料の販売が引き続き堅調に推移する見通し
- 電子・電機業界向け材料においては、業界の再編、取引先生産拠点の海外移転等依然厳しい環境が予想される

※増減は円単位にて計算



営業利益

- 売上高増による利益増を見込む

【セグメント別】平成25年3月期 業績予想(連結 その他)

(単位:百万円)

その他

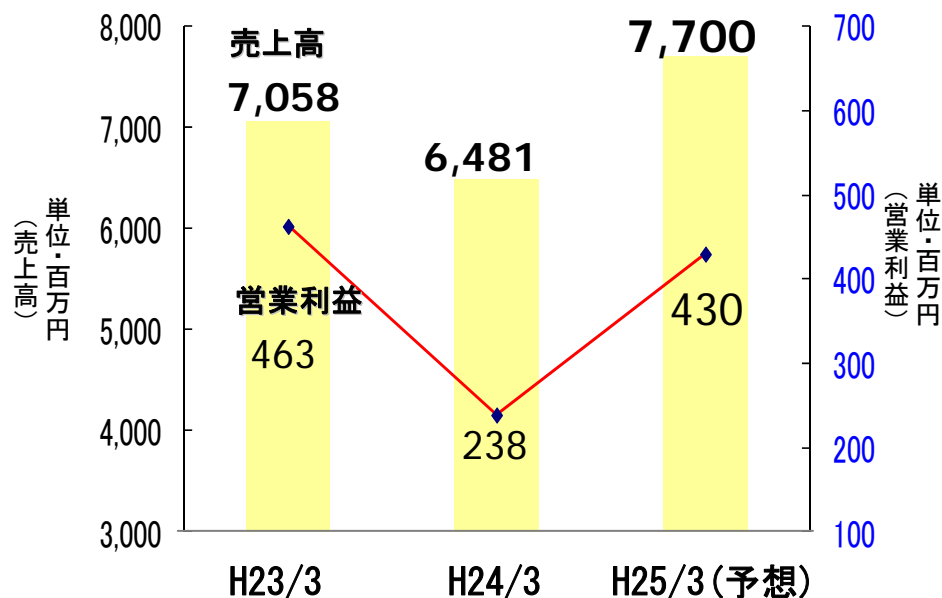
	平成24年3月期 比較
売上高	+1,219百万円(+18.8%)
営業利益	+192百万円(+80.1%)

※増減は円単位にて計算

売上高

■ 工事請負事業(土木建築工事業)
前期受注工事の完工時期ずれ

■ 化学品データベース事業
海外も含めた化学物質管理の重要性からシステムの販売が
堅調に推移する見通し



営業利益

■ 工事請負事業(土木建築工事業)
売上高増による利益増を見込む

投資案件の進捗について(トピックス)

インフラの整備

新基幹システムの導入

物流改革の推進

経営環境の変化への
対応

物流の合理化
によるコストの削減

業務の効率化による
コスト削減

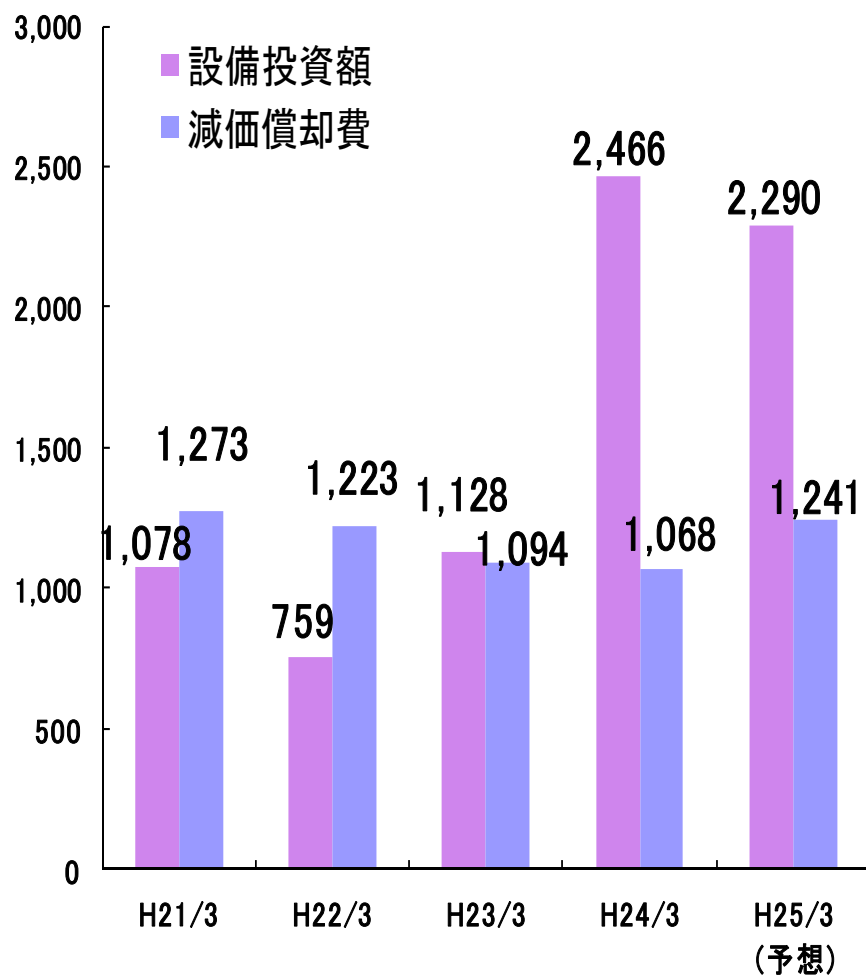
物流サービスの向上

本年10月本稼働

設備投資額・減価償却費・研究開発費について

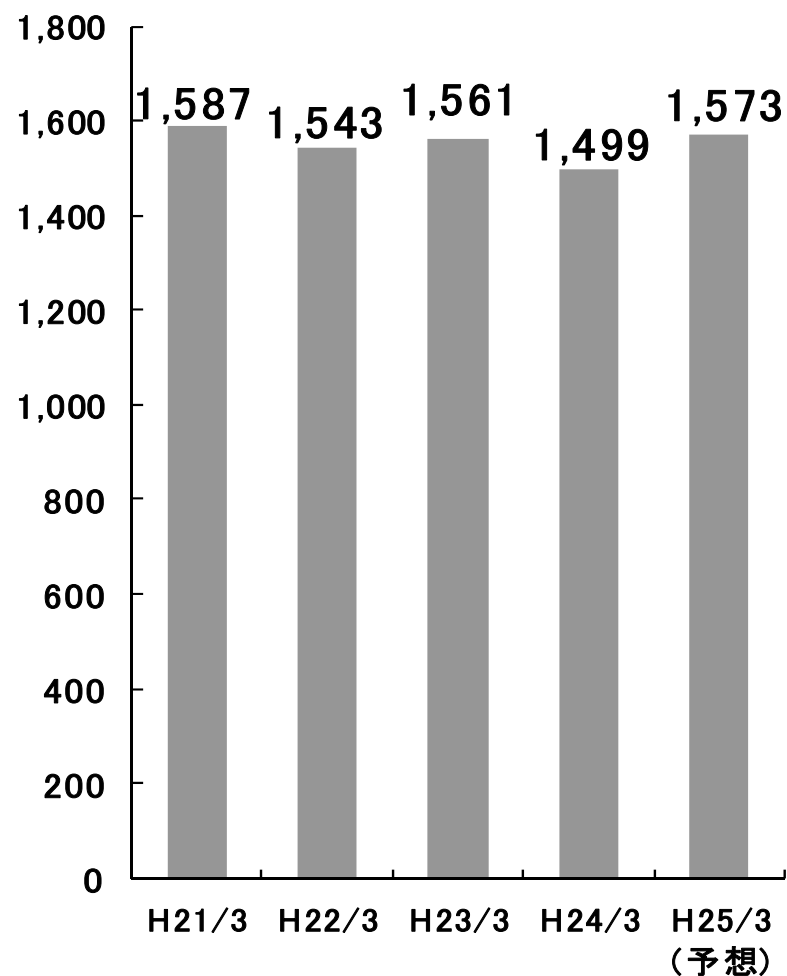
設備投資額・減価償却費

(単位:百万円)



研究開発費

(単位:百万円)



記念配当について

平成24年コニシ株式会社は bonds 発売60周年を迎えました

平成25年3月期中間配当金として記念配当2円を予定

平成24年3月期

1株当たり中間配当金	1株当たり期末配当金	1株当たり年間配当金
12円	12円	24円



平成25年3月期

1株当たり中間配当金	1株当たり期末配当金	1株当たり年間配当金
12円+2円=14円	12円	26円



本日はコニシ株式会社
平成24年3月期決算説明会に
ご出席賜り、誠にありがとうございました。



コニシ株式会社は平成24年合成接着剤「ボンド」発売60周年を迎えました